

今月の納入事例
Delivery case this month

特殊形状アーム仕様 ATC 装置

仕様

工具本数	40本
工具形状	MAS-403 BT50
工具フルスタッド	MAS P50T-2
工具最大径	特殊
工具最大長さ	450mm
工具最大質量	切削工具50kg 回転工具30kg
チェンジャ駆動	油圧方式
マガジン駆動	サーボモータ



☆特徴 (Feature)

- ・垂直、水平ヘッドに対応する為、交換アームを特殊形状にしたATC装置。
- ・工具最大質量は50kgと重荷重に対応しております。

今月のコラム

【平和記念公園】

8月4日の酷暑の中、広島の平和記念公園に行ってきました。
当日は、2日後に行われる平和記念式典の準備で、白いテントや会場の設営を行っていました。
テレビのニュース等で式典の様子は見たことがありましたが、白テントの会場はかなり広いスペースがあり、たくさんの人々が国内外から訪れると思われました。
2日前ですが、私も記念碑に手を合わせ、平和への祈りを捧げました。

(製造部 池田)



編集後記

弊社から少し北上すれば、すぐ県境で鳥取県に行けます。
地域情報でも、紹介していますが鳥取は砂丘で有名です。
以前鳥取県知事が、「鳥取にはスタバはないけどスナバはあるよ」で話題になりましたが、残念？なことに2015年にスタバ第一号店ができたそうです。
実際に鳥取砂丘近くに「すなば珈琲」という店もあります。
また、機会がありましたら、足を運んでみられたらいかがですか。



エイ・テイ・シイ株式会社について

会社名： **エイ・テイ・シイ株式会社 ATC CO.,LTD.**
所在地：〒708-1306 岡山県勝田郡奈義町西原 380 番地 8
TEL：0868-36-7360
FAX：0868-36-8356
E-mail：atcltd@atc-ltd.co.jp
：「**工作機械設計 .com**」
ホームページ ▶ <http://www.kousakukikaisekkei.com/>
1'st ▶ <http://www.autotoolchanger.com/>
2'nd：「**エイ・テイ・シイ☆スタッフブログ**」
ブログURL <http://blogatc.blog46.fc2.com/>

弊社カタログ等の御請求は添付のFAX用紙にて申し込みいただくか、ホームページにアクセスして下さい。



この印刷には、環境にやさしい植物油インキを使用しています。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています。

<http://www.kousakukikaisekkei.com>
<http://www.autotoolchanger.com>

Advanced Technology & Creative

工作機械設計情報

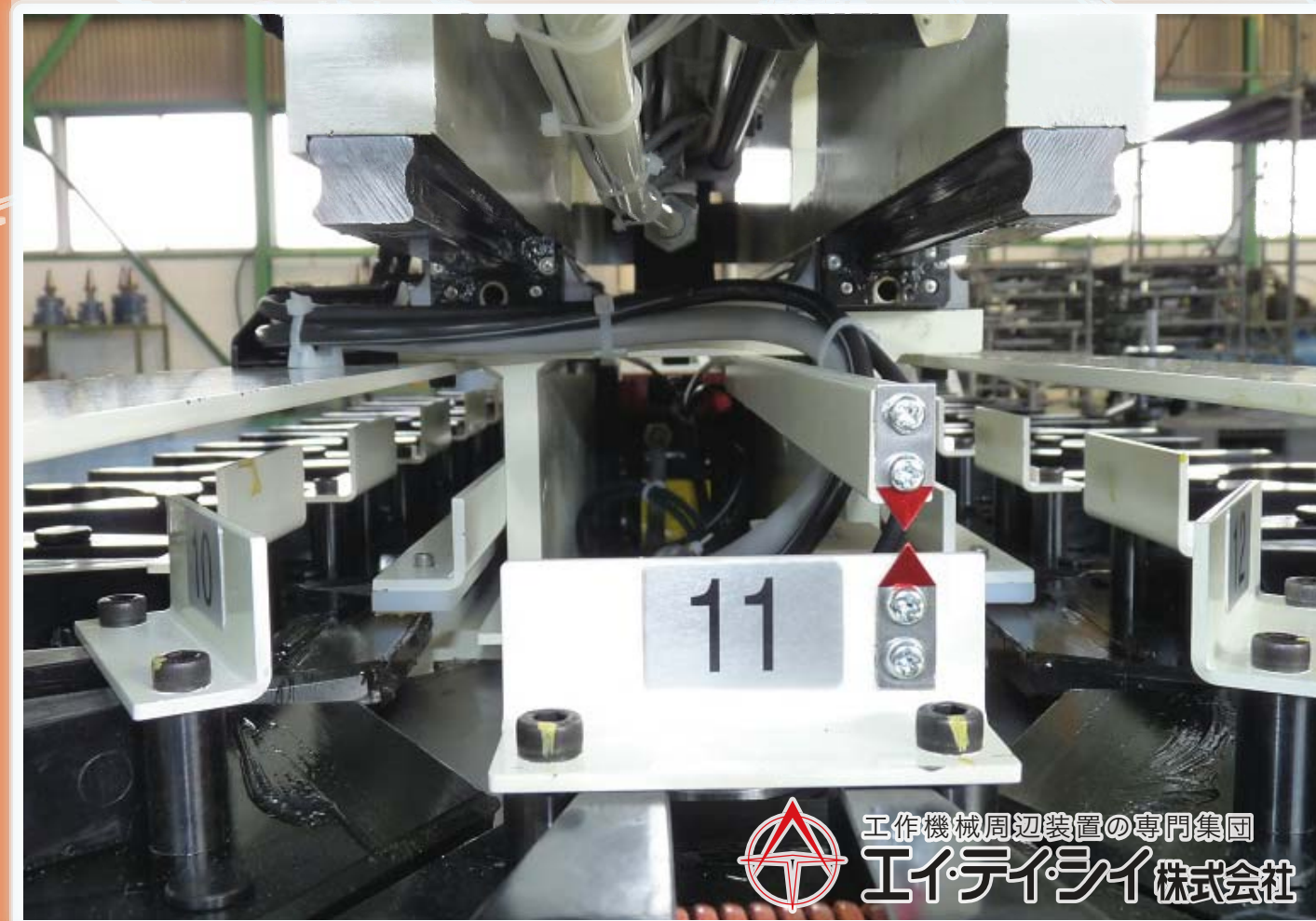
第90号
2018年9・10月

【特集】

＜設計のポイント＞
チェーンの雑学

＜ぐっとくる話紹介＞
「初任給の物語」

＜今月の納入事例＞
特殊形状アーム仕様 ATC 装置



工作機械周辺装置の専門集団
エイ・テイ・シイ株式会社

■ ご挨拶

今年の夏は、平年より異常に暑く大雨あり台風あり地震あり、各地で大きな災害が起きました。
秋から冬にかけては何もない事を祈るばかりです。
朝晩だんだんと肌寒くなってきましたが、体調にはお気をつけて各々の「楽しい秋」をお過ごし下さい。



■ 工作機械周辺装置 設計のポイント

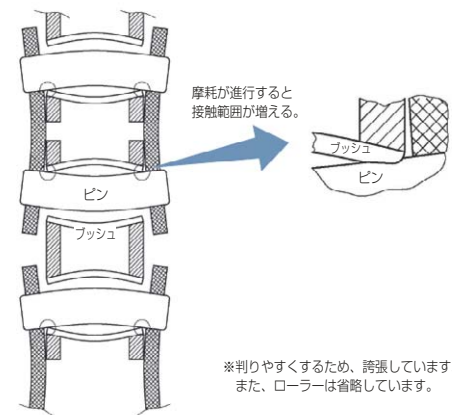
▶ チェーンの雑学

今回はチェーンの雑学について紹介したいと思います。
装置の動力伝達、ワーク搬送などでチェーンを使用します。
よくチェーンが伸びると聞きますが伸びには2通りあります。

■ 初期伸び

使用開始初期はピンとブッシュの接触範囲は一部に限られ少ない接触範囲で張力を支えるため面圧が高く摩耗が早く進行します。これが初期伸びとなります。

ある程度摩耗が進行すると接触範囲が増え面圧も低くなり摩耗進行速度が遅くなります。(いわゆるアタリが出た状態)
初期伸び量は、一般的に0.05～0.1%程度だそうです。



※判りやすくするため、誇張しています。
また、ローラーは省略しています。

■ 摩耗伸び

チェーンがスプロケットに巻きつく時、およびスプロケットから出ていく時にピンとブッシュが摺動し摩耗する為に発生します。言い換えると引っ張られるだけで摩耗伸びは発生しないということになります。

摩耗伸びを抑えるためにはピンとブッシュ間に油膜が形成されている事が重要で給油が不十分だと油切れとなり摺動面がざらついて、さらに摩耗が進行してしまいます。(給油は重要なメンテナンス作業ですので定期的をお願いします。)



■ 社員の独り言

【安芸の宮島】

久しぶりに安芸の宮島に行ってきました。たぶん3回目になると思います。
酷暑の中、汗ダクになりながら散策し世界遺産の「厳島神社」の朱色の回廊を歩きながら、1400年の悠久の時を感じ、時折吹く心地良い風に穏やかなひと時を過ごしました。
昼ごはんには、広島風お好み焼きを、運転なのでビールを我慢しながら味わいました。



■ ぐっとくる話 紹介

【初任給の物語】 銀行に勤める20歳の短大卒の女性が、初月給を親のために使って喜んでもらおうと、両親をレストランに招待しました。

お母さんは前日から美容院にセットにいたりして大喜び。
ところが、お父さんはブスッと不機嫌な顔をしてついてきた。
「何を怒っているの」とたずねたら、「一回の晩飯ぐらいで、俺が二十年間苦勞して育ててきたことが帳消しになると思ったら、大間違いだぞ」と・・・
「そんなこと、どうして言うの?」と思ったけど、口に出しませんでした。
今日はめでたい日だし、お母さんは横でもうパクパク食べ始めているし、今さら怒って帰れない。

しばらく天井を見つめていたお父さんが、ポツリと「ビールぐらい、飲んでもいいか?」と言った。

「誰がビールなんかついでやるもんか」そう思ったけど、つがなきゃしょうがないなと思って彼女は酌をした。

ところが、コップを差し出したお父さんの手には、二十年間勤めたセメント工場での白い粉が、びっしり。手の甲のしわと毛穴にまで詰まっていた。それに気づいた彼女は「お父さんゴメンネ」と言いたかったけど、どうにも言葉になりませんでした。

自宅に戻ったその後、彼女がトイレに行こうとして両親の部屋の前を通りかかったら、中から話し声が・・・
どうせまた、お父さんが私の悪口を言っていると思ったら、それが違うのです!

「俺も五十いくつになるけど、今日みたいにおいしい晩飯は初めてだった。あいつの顔を見ていたら、俺は涙があふれそうになったから、天井しか見れなかったけど、なあお前、本当にいい娘に育ったなあ。」
その瞬間、彼女はそこから先に足が進みませんでした。

そのまま自分の部屋に帰って、頭から布団をかぶって「バンザイ!」のポーズをしていました。



「はっと! 気付くいい話」より

■ なんでも地域情報

今回は【砂の美術館】の紹介です。

自然が気の遠くなるような年月を経て作り出した造形美である「鳥取砂丘」。そこに人の力で新たな造形美を創り出し、この地を訪れる人に今までにない感動と感激を与えたい。そんな思いが現実となり、2006年11月18日に「砂」を素材にした彫刻作品である「砂像」を展示する「砂の美術館」が開館しました。

砂像彫刻家兼プロデューサーとして国内外で活躍している茶園勝彦氏が総合プロデュースを務め、毎年海外各国から砂像彫刻家を招き、世界最高レベルの砂像を展示しています。

砂の美術館は、「砂で世界旅行」を基本コンセプトとし、毎年テーマを変えて展示を行っています。会期が終われば、砂像はもとの砂にかえっていきます。限られた期間しか存在することができない砂像。その儚くも美しい造形を創り上げる為に、砂像彫刻家は情熱を注ぎ込みます。永遠に残らないがゆえの美しさが、砂像のもつ大きな魅力の一つなのです。

出来上がった作品の精巧さや迫力はもちろんのこと、決まった場所に限られた期間しか存在できない砂像の持つストーリーを感じながら鑑賞すると、より砂像の魅力を感じて頂けると思います。

鳥取県鳥取市福部町湯山2083-17
入場料 一般：600円 小中高生：300円

